はじめに

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 三戸 望 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/0002002328

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.

研　究　紀　要

第６５号

Society5.0 を主体的に生きるための資質・能力の育成（3 年次）

ー新設教科「創造デザイン科」の提言と
STEAM 教育を踏まえた教科等横断的プロジェクトの作成を目指してー

令和４年度

金沢大学附属中学校

はじめに

金沢大学附属中学校
校　長　　三戸　望

本校では昨年度より令和６年度までの４年間，文部科学省の研究開発学校の指定を受け，「個々の持つ強みを協働させて『新たな価値を創造する資質・能力』を育成する新設教科『創造デザイン科』の在り方に関する研究開発―個別最適化学習と STEAM 教育を柱として―」に取り組んでいます。

２年目となる今年度は，研究主題を「Society5.0 を主体的に生きるための資質・能力の育成（３年次）―新設教科「創造デザイン科」の提言と STEAM 教育を踏まえた教科等横断的プロジェクトの作成を目指して―」として，令和４年 11 月 23 日に第 70 回教育研究発表会を行いました。当日は，北は北海道，南は沖縄県から 205 名もの方が参加され，様々なご意見をいただくことができました。それらのご意見を参考にして各教科等で研究をまとめたものが，この紀要となります。

文部科学省の研究開発学校制度の趣旨は，学校指導要領等の現行の教育課程の基準によらない特別の教育課程の編成・実施を行い，その実践研究を通して新しい教育課程・指導方法を開発していこうとするものです。ですから本校が提案する新設教科「創造デザイン科」は，新しい学習指導要領の教育課程に何らかの影響を与えるものにならなければいけません。

そのためには，私たちが実践している「創造デザイン科」の授業が Society5.0 を主体的に生きるための資質・能力の育成に本当に貢献しているか，厳しい目で見る必要があるでしょう。今回の研究発表会でいただいたご意見の中には厳しいご指摘もありましたが，本校としてはそのご指摘を真摯に受け止め，来年度の研究に生かしていく予定です。皆様も本紀要を読まれて新たにお気づきの点があれば，是非本校までご連絡くだされば幸いです。

尚，今年度より紀要を冊子ではなく，ＣＤの形で発行することといたしました。これは世界的な流れであるペーパーレス化に呼応したものです。これについてもご意見があれば，お寄せいただければと思います。

最後になりましたが，本校の研究に懇切丁寧なご指導・ご助言をいただきました上に，当日「探究的な学習の充実と発展」と題したご講演をしてくださいました文部科学省教科調査官の齋藤博伸先生に，厚く御礼申し上げます。

令和５年　２月